

IV-6 ウーマン・テニユア・トラック教員制度

(1) ウーマン・テニユア・トラック (WTT) 教員制度の概要

女性教員の雇用を促進するために、岡山大学独自の財源による若手女性研究者のためのテニユア・トラック制度（年に3～5名の採用）を新設した。平成21年にウーマン・テニユア・トラック (WTT) 教員の国内公募、国際公募を行い、国内、国外の若手女性研究者の多数の応募を得た。学外評価委員も含めた選考委員会を経て、WTT教員候補者が決定された。平成22年4月1日付けで4名の第I期WTT教員が採用され、同時にメンター教員の委嘱が行われた。引き続き、第II期WTT教員の募集を平成22年7月に開始（9月締切）し、国内、国外から多数の応募があった。学外評価委員も交えた選考委員会等を経て、平成23年度第II期WTT教員3名の採用が内定された。

なお、本事業の総括は、学長の下に設置されたWTT人事協議会（議長：企画・総務担当理事）が行う。その下に設置されているWTT教員評価委員会（学外委員含む）がWTT教員候補者の予備選考を行い、WTT人事協議会でWTT教員候補者を決定し、最後に学長が採用を決定する。WTT業務推進室及び男女共同参画室は、人事協議会、評価委員会をサポートする。さらに、WTT教員に対するワーク・ライフ上のメンタリング等を行う。

ウーマン・テニユア・トラック制の定義

「若手研究者養成システム改革」公募要領〔目的〕

若手研究者が、任期付きの雇用形態で自立した研究者としての経験を積み、厳格な審査を経て安定的な職を得る仕組み ※ 安定的な職: 任期を付さない職位等

「若手研究者養成システム改革」公募要領〔実施課題の選定に係る評価項目・審査基準〕

- ・実施機関外の第三者を関与させるなど厳格に評価した上で、任期終了後に若手研究者をテニユア・ポストへ着任させるといったキャリアパスが用意されているか。
- ・安定的な職位について後も、人材の流動性を活性化する仕組み（再任可能な任期制、再審制など）になっているか。

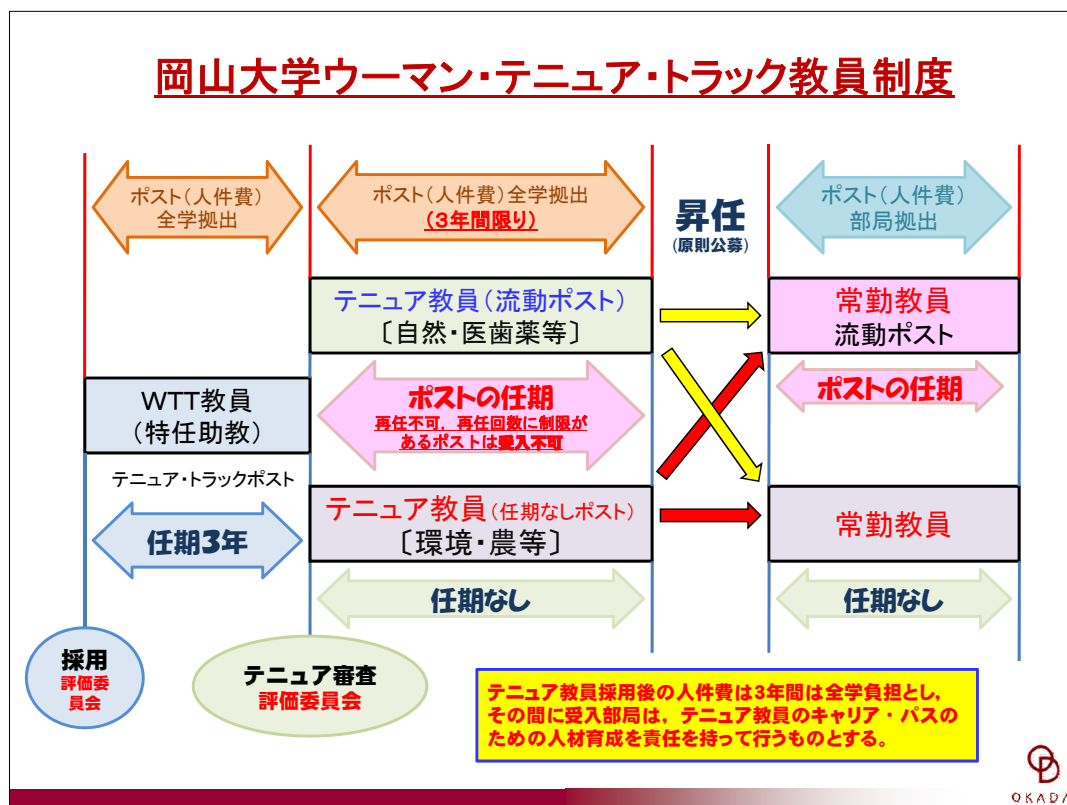
「女性研究者養成システム改革加速」公募要領〔対象とする取組〕

理学系、工学系、農学系の研究を行う女性研究者の養成計画に基づき、安定的な職（任期を付さない職又は「大学の教員等の任期に関する法律」（平成9年法律第82号）による任期を適用する職）に優秀な女性研究者を新規に採用（ポストドクター等の研究職を経験した者に限る。）し、養成するために必要な取組に加え、「女性研究者支援モデル育成」において支援対象となっていない取組とする。

ウーマン・テニユア・トラック制

WTT教員として3年間の助教(特任)として受入研究科において自立した研究者としての経験を積み、テニユア教員の採用基準に達していると評価された者をテニユア教員(任期を付さない職又は国立大学法人岡山大学教員の任期に関する規則に定める再任可能な任期付きの職(再任回数に制限がある職を除く。))として採用する人事システム





IV-6 (2) ウーマン・テニユア・トラック (WTT) 業務推進室の新設

平成 22 年 4 月 1 日、システム改革支援室から名称変更し、WTT 業務推進室とした。本学が定める WTT 制の実施に関する規程に基づき、第 I 期 WTT 教員採用から第 II 期 WTT 教員募集・採用手続き等の業務、WTT 人事協議会及び WTT 教員評価委員会のサポートを行った。

IV-6 (3) WTT 教員選考経過 (第 I 期・第 II 期)

第 I 期 WTT 教員選考経過

H21.10	第 I 期 WTT 教員 募集要項, 審査基準 決定 第 I 期 WTT 教員 募集開始 (募集締切 12 月 15 日) 岡山大学ホームページ及び研究者人材データベース (JREC-IN) に公開 (応募受付期間 10 月 15 日~12 月 15 日)
H21.12	第 I 期 WTT 教員募集締切 WTT 教員評価委員会 学外・学内委員決定 WTT 教員評価委員会委員による書類審査
H22.1	第 1 回 WTT 教員評価委員会 開催 第 2 回 WTT 教員評価委員会 開催

H22.2	自然科学研究科へ第二次審査結果の報告と採用の意思確認 自然科学研究科にて専攻長会議開催 メンター教員（予定）に承諾の確認
H22.3	第1回 WTT 人事協議会開催 第I期 WTT 教員4名採用内定
H22.4	第I期 WTT 教員4名採用

第II期 WTT 教員選考経過

H22.6	H22 第1回人事協議会 開催
H22.7	第II期 WTT 教員募集の公募領域決定 第II期 WTT 教員募集要項決定 第II期 WTT 教員 募集開始（募集締切 9月16日） 岡山大学ホームページ及び研究者人材データベース（JREC-IN）に公開 （応募受付期間 7月23日～9月16日）
H22.8	募集要項 英語版完成 国際協定校64校へ公募
H22.9	第II期 WTT 教員募集締切 WTT 教員評価委員会 学外・学内委員決定
H22.10	WTT 教員評価委員会委員による書類審査
H22.10	第1回 WTT 教員評価委員会 開催
H22.11	第2回 WTT 教員評価委員会 開催 H22 第2回人事協議会 開催 受入予定研究科へ候補者決定の通知
H22.12	受入研究科にて候補者の承認 H22 第3回人事協議会（メール会議） 開催 第II期WTT教員・メンター教員候補者決定 第II期WTT教員3名採用内定

IV-6 (4) WTT 教員募集要項 (第II期)

WTT 教員募集要項 (1/5pg)

<p>平成23年度 岡山大学「ウーマン・テニユア・トラック」教員募集要項</p> <p>岡山大学は、質の高い女性研究者の持続性ある雇用・育成を目指し、これまで女性研究者が研究しやすい環境整備のために、保育施設等の設置を進めてまいりました。これらの環境整備に加え、女性研究者が研究と出産・育児等を両立させ、持てる資質・能力を遺憾なく発揮していただくための、各種支援を行ってまいりました。これらの環境整備、各種支援策により、教育・研究に対する高いモチベーションを持続でき、働く女性研究者が増大することを目指しています。</p> <p>平成21年度科学技術振興調整費・女性研究者支援モデル育成に本学の「学部・岡大薬 女性研究者が育つ進化プラン」が採択されました。このプログラムに付随した岡山大学独自の事業として、若手女性研究者を対象に「ウーマン・テニユア・トラック (WTT)」教員制度を策定し、第一期WTT教員が本年4月1日から研究をスタートさせております。</p> <p>第二期WTT教員 (平成23年4月1日採用) の新規採用のために、下記のとおり公募いたします。</p> <p style="text-align: center;">岡山大学ウーマン・テニユア・トラック人事協議会</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 職 種 特別契約職員 助教 (特任)</p> <p>2. 所 属 岡山大学の大学院自然科学系又は生命科学系研究科 (大学院自然科学研究科、大学院環境学研究所、大学院医歯薬学総合研究科又は大学院保健学研究科のうちの一研究科)</p> <p>3. 教 育・研究領域 自然科学系研究分野 (理学、工学、環境理工学、農学、薬学、医学、歯学、畜学、保健学等) のうち、今回は次の (1)～(6)の分野で各1名募集。なお、採用は、全分野で3～5名。 (1) 自然科学研究科バイオサイエンス専攻 生物機能化学講座 農芸化学分野において優れた業績を有し、その分野での教育研究に意欲的で、有機化学・生物化学・応用微生物学の3基礎科目に関連する教育を担当可能な方。 (2) 自然科学研究科バイオサイエンス専攻 植物機能開発学講座 野菜または花卉栽培の経験があり、園芸学に関するフィールドレベルでの教育研究に必要な栽培技術を得得しており、農学部附属フィールド科学センターにおける実習教育に意欲的に参画することが可能な方。 (3) 自然科学研究科バイオサイエンス専攻 植物機能開発学講座 作物 (園芸作物を含む) の遺伝・育種学の分野において優れた業績を有し、作物の有用遺伝変異及び遺伝的多様性に関する分子遺伝学的研究、及び学生の教育・研究指導に熱意を持って取り組んでいた方。 (4) 自然科学研究科バイオサイエンス専攻 動物機能開発学講座 動物生産科学分野において優れた業績を有し、動物生理学、動物解剖学、動物組織学に関連する研究、及び学生の教育・研究指導に熱意を持って取り組んでいた方。</p>

WTT 教員募集要項 (2/5pg)

<p>(5) 環境学研究科生命環境学専攻 環境生態学講座 森林科学分野において優れた業績を有し、地球環境問題を視野に入れて、森林生態学あるいは樹木生理生態学に関連する研究、及び学生の教育・研究指導に熱意を持って取り組んでいた方。</p> <p>(6) 保健学研究科保健学専攻 検査技術科学分野 生命科学分野において優れた業績を有し、かつコメントダイカカルとくに臨床検査技術師教育の教育・研究指導に熱意を持って取り組んでいた方。</p> <p>4. 採用人数 3～5名 (全分野の総数)</p> <p>5. 応募資格 博士の学位を有する女性研究者 (2011年3月31日までに学位取得見込みの者を含む。)</p> <p>6. 採用予定日 2011年4月1日 なお、本学への社任に際しては、本学の規程に基づき社任旅費を支給する。</p> <p>7. 任 期 2011年4月1日から2014年3月31日まで</p> <p>8. 雇用条件等 1) 給与 年俸300万円 (基本給に諸手当相当分を含む。任期中は一定とする。)</p> <p>2) 勤務形態 勤務形態については、1日6時間15分勤務と、週3時間15分勤務とするが、専任教員と同様に専門業務型従量労働制を適用し、所定の勤務日に勤務した場合は、1日6時間15分勤務したものとみなす。</p> <p>3) 福利厚生 本学の職員宿舎、保育所、病児・病後児保育施設、学童保育施設を利用できます。 厚生年金、健康保険、雇用保険、労災保険、適用</p> <p>4) 中間評価及び最終評価 ウーマン・テニユア・トラック教員が応募時に提出した「本学で行う研究の研究計画」に記載されている研究の進捗状況、達成状況等について、2013年3月と中間評価、2013年12月に最終評価を行う。</p> <p>5) テニユア教員への採用 ① 上記4)の最終評価に達している採用基準に達している採用されたWTT教員は、WTT人事協議会等の審議を経た後、2014年4月1日付で岡山大学テニユア教員に採用する。 ② 上記4)の最終評価に達していない採用されたWTT教員のうち、あと少しでテニユア教員への採用基準に達する水準にあると判断される研究者については、WTT教員として最長1年間雇用を延長し、再評価を行う。この再評価において、テニユア教員への採用基準に達していると評価された場合は、WTT人事協議会等の審議を経た後、岡山大学テニユア教員に採用する。 ※ 上記①、②の「テニユア教員」採用とは、評価結果に基づき、助教、講師または准教授に採用されることを意味する。</p> <p>9. 研究奨励等 1) 研究費等 ① 研究費については、1年目、2年目にスタートアップ資金 (設備費及び消耗品費として100万円) を措置する。なお、学内外の競争的資金への応募、研究組織への参加などは自由である。積極的な応募、参加が期待される。いずれの研究費も本学規程に基づき使用しなければならぬ。</p>

WTT 教員募集要項 (3/5pg)

② 研究スペースについては、所属研究科長、関係学部長と相談の上、決定する。

2) 研究サポーター体制

① WTT教員は、研究を自立的、主体的に企画・立案（研究費等も含む）し、研究計画を立て、それを遂行する。WTT教員には、研究サポーターを行うメンター教員を配置し、その指導・助言を受けながら、メンター教員の所属する研究会などの積極的参加により、研究をスムーズに遂行するとともに、研究の幅を広げることが期待される。

② 出席、育児、介護等のために、サポーターを希望する場合には、メンター教員をリーダーとするサポーターグループ（人材登録・ベンタ登録の技術職員、博士研究員、リサーチアシスタントなどにより構成）を結成して研究活動をサポートする。

3) 教育担当

所属研究科長、関係学部長、メンター教員との相談のもと、学部専門教育、博士前期課程学生対象の実験、セミナー、課題研究、講義などのうち、年1〜2コマを担当することができる。

10. 応募書類等

1) 岡山大学ウーマン・テニユア・トラック (WTT) 人事協議会議長宛ての応募申込書 (別紙様式1)、及び※次のURLから入手できる。

<http://www.okayama-u.ac.jp/wtt/junit/bsavukvokvok.html>

別紙様式1 岡山大学ウーマン・テニユア・トラック (WTT) 人事協議会議長宛ての応募申込書 (応募する教育・研究領域の申し出を含む。)

別紙様式2 岡山大学「ウーマン・テニユア・トラック (WTT)」教員応募書類

1) 履歴書

写真、大学卒業以降の学歴、職歴、研究歴、および応募者の研究分野などを記入する。

2) WTT教員としての本学における研究計画 (図表を含んでA4縦3〜4枚程度)。次の項目を含む。

- ・提案研究課題 (和文、英文)
- ・提案の要旨 (和文、英文)
- ・提案研究の内容説明
- ・本提案の獨創性と新規性および国内外における位置づけ
- ・研究実施計画および計画の実現性

3) これまでの研究業績 (A4縦1-2枚)

4) これまでの研究業績 (A4縦5編までの別刷 (コピー可) を添付すること。)

5) これまでの教育業績の説明および教育に対する抱負 (A4縦1-2枚)

6) 競争的資金獲得状況、申請状況およびWTT期間中の資金獲得予定

7) 応募者をよく知る研究者からの推薦書 (研究上の指導者や関連研究分野研究者) 1名ないし2名からの推薦書 (研究上の指導者や関連研究分野研究者)

2) 問い合わせ先

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室
TEL & FAX 086-251-7011
E-mail: saukaku@adm.okayama-u.ac.jp

3) 応募に係る個人情報取扱
応募に係る個人情報、個人情報保護法及び本学規程に基づいて適切な取扱をする。応募の事実は非公開とするが、選考に必要な範囲において照会等を行うことがある。また、応募書類は返却しない。

WTT 教員募集要項 (4/5pg)

11. 応募受付期間及び審査スケジュール等

1) 応募受付期間
日本時間2010年7月20日 (火) から2010年9月16日 (木) 17時まで【必着】

2) 応募書類提出先
応募書類は、下記の提出先に郵送 (書留) にて送付すること。(封筒には、「岡大WTT教員 応募」の文言を赤色で書き加えること。)

なお、受理次第、折り返し受理通知のメールを返信するので、必ず確認すること。
〈提出先・送付先〉
〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号
岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室宛
岡山大学ウーマン・テニユア・トラック人事協議会議 宛

3) 審査スケジュール

① 第一次審査 (書類選考) : 2010年10月中旬迄 (予定)
※ 選考結果は、本人宛 E-mail 等で通知します。(第一次審査合格者には、10月下旬頃に第二次審査の日時等を併せて通知します。)

② 第二次審査 (面接、ヒアリング) : 2010年11月中旬頃 (予定)
※ 提出書類に関する質疑応答を行う。また、提案研究に関するプレゼンテーションと教育に関する抱負を述べてもらい、質疑応答を行う。
※ 面接会場: 岡山市北区津島中一丁目1番1号) までの旅費等は自己負担とする。

③ 審査結果の通知: 2010年12月下旬 (予定)

4) 採用審査基準
応募者から提出された書類および面接、ヒアリングの結果を基に選考委員会で、別紙採用審査基準に示す項目に沿って、審査・評価を行い、決定いたします。

WTT 教員募集要項 (5/5pg)

別紙

採用審査基準

応募者から提出された研究計画書および面接の結果を基に、第一次審査、第二次審査を行う。以下の項目について審査、評価し、これらの評価を基に、WTT教員として優れた資質を持ち、将来研究者、大学教員として独自に歩むことが期待できる女性教員3～5名を最終候補者とし、採用する。

第一次審査（書類審査）における評価項目

【I】 WTT教員として行う予定の研究提案について

(1) 提案の目的と内容説明

他分野の研究者にも十分読得力をもつように記述されているか。

(2) 提案の独創性と新規性および国内外における位置づけ

本提案の独創的な点、新規性が明確に説明されているか。類似研究との違いが明確で、優位性が認められる研究であるか。

(3) 本提案の学術的・社会的な重要性および科学的あるいは技術的な重要性

本提案の研究目的が達成されると、学術的などのような波及効果が期待できるか。また将来の社会の発展にどのような波及効果が期待できるか。

(4) 研究計画および計画の実現性

本提案の実行計画は合理的で実際に実現可能なものであるか。特に、2013年3月（中間評価）の時点での実現が期待されるか、および2013年12月（最終評価）の時点での実現が期待されるか。

【II】 これまでの研究業績について

(1) 過去の業績説明

他分野の研究者にも十分読得力をもつように記述されているか。

(2) 研究業績リスト

既述表論文の量と質は十分であるか。

【III】 これまでの教育業績、教育に対する抱負について

教育に関する経歴（学部・大学院の別、授業科目名および単位数、講義・演習・実習・実務、講習の別、講義等の内容および教育上特に実施した事項）および教育に対する抱負から、大学教員としての資質は十分か。

【IV】 競争的研究資金について

(1) WTT教員として研究を進めるための研究資金を競争的資金から独自に集めることが期待できるか。

(2) 科学研究費等の研究資金獲得のための申請書作成能力は十分にあると考えられるか。

【V】 推薦書

当該研究者の研究立案能力および研究推進能力は評価に値するものであるか。

第二次審査における評価項目

(1) 第一次審査の評価結果、および提出書類に関する質疑応答

(2) 面接における質疑応答、研究内容に関するプレゼンテーションと教育に関する抱負、およびそれに対する質疑応答

(3) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力

自分の考え、主張を明確に表現でき、説明できるか。学生の教育にも支障はないか。

研究内容を他分野の研究者、専門外の者にもわかりやすく説明できるか。

IV-6 (5) WTT 教員選考採用結果 (第I期・第II期)

第I期 WTT 教員【平成22年4月1日採用者4名】

No.	氏名	学位名	最終学歴	メンター教員
1	吉岡 美保	理学	岡山大学大学院自然科学研究科 博士後期課程修了	大学院自然科学研究科 バイオサイエンス専攻 分子生物科学講座 山本 泰 教授
2	三谷 奈見季	農学	岡山大学大学院自然科学研究科 博士後期課程修了	大学院自然科学研究科 バイオサイエンス専攻 植物ストレス科学講座 (資源植物科学研究所) 馬 建鋒 教授
3	江口 律子	工学	東京大学大学院工学系研究科 博士課程修了	大学院自然科学研究科 機能分子化学専攻 物質基礎化学講座 久保園 芳博 教授
4	御輿 真穂	理学	東京大学大学院理学系研究科 博士後期課程修了	大学院自然科学研究科 バイオサイエンス専攻 高次生物科学講座 坂本 竜哉 教授

【ダイバーシティ推進本部 ホームページ掲載(第I期)】

岡山大学
ダイバーシティ推進本部
OKAYAMA UNIVERSITY
ORGANIZATION FOR DIVERSITY MANAGEMENT

サイト内検索 Google 検索 文字サイズ 小 中 大

岡山大学 ホーム サイトマップ 交通アクセス お問い合わせ

男女共同参画室 次世代育成支援室 障害者雇用推進室 高齢者雇用安定室 外国人雇用推進室

ニュース

ダイバーシティ推進本部 > ニュース > ウーマン・テニユア・トラック教員採用

ウーマン・テニユア・トラック教員採用

岡山大学では、平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」の採択を受け、「学部・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」を推進しています。
本事業の一環として、若手女性研究者をウーマン・テニユア・トラック(WTT)教員として公募し、平成22年4月1日、第1期WTT教員4名を採用しました。
千葉学長より辞令交付の後、「WTT教員制度は、全国に例のない制度でもあり、多数の応募者から選ばれた非常に優秀な人材であるという誇りを胸に、岡山大学発展のために頑張ってください。」との激励を受けました。

サイトについて | プライバシーポリシー |

岡山大学 ダイバーシティ推進本部 〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1番1号
Copyright © 2009 Okayama University All rights reserved.

第II期 WTT 教員【平成23年4月1日採用内定者3名】

所 属	内定者数
生物機能化学講座 [大学院自然科学研究科 (農)]	1名
環境学生態講座 [大学院環境学研究科 (農)]	1名
検査技術科学分野 [大学院保健学研究科]	1名